

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4092100025
法人名	(株)take care TAKE
事業所名	グループホーム うすい
所在地	〒 820-0504 福岡県嘉麻市下白井1082-66 TEL 0948-62-2555 FAX 0948-62-5666

評価機関名	特定非営利活動法人ヘルスアンドライツサポート うりずん		
所在地	福岡県直方市知古1丁目6番48号		
訪問調査日	平成20年9月3日	評価確定日	平成20年9月18日

【情報提供項目より】(平成20年 8月 20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 7月 1日				
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人		
職員数	8人	常勤	8人, 非常勤	人, 常勤換算	人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含)	有(円)	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	1日あたり1,300円			

(4) 利用者の概要(8月20日現在)

登録人数	9名	男性	5名	女性	4名
要介護1	3名	要介護2	1名		
要介護3	4名	要介護4			
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 85歳	最低	74歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鎌田病院 桂川歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームうすいは近隣に医療機関やスーパー、小学校等のある住宅地にある一ユニットのグループホームである。地域密着型サービスとして地域と交流したいと地区自治会に加入し、管理者が率先して公民館の清掃や地区の美化運動に参加している。開所5年目になり、職員と入居者の17人が大家族であるとのホームの理念を日頃から運営者や管理者は職員に伝えているが、経口摂取が難しくなった重篤な入居者に一口でも食べてもらいたいとミキサー食にしたり、相談したかかりつけ医が持参された栄養食品の摂取を促している様子は、まさに家族の有様である。そのような職員の対応が効を奏し、入居者は穏やかで暖かな笑顔を職員や家族、他の入居者に見せている。また、食事介助を他の入居者がしたりとお互いに気遣う様子からも、理念の実践が伺える。管理者はここ一年入居者が相次いで医療機関で世界されたことは淋しいが、参列した告別式では入居者のひ孫の弔辞でグループホームでの生活を紹介され、胸を篤くしたと語っている。一方、五ヶ月間のホームでの支援で心身の状況が安定し自宅に帰られた入居者もあり、今後も入居者や家族の要望や意向、重度化や終末期の方針に沿った個別ケアが期待できる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価結果に沿って、地域密着型サービスの方針を重要事項説明書に明記している。就業規則や高齢者虐待防止マニュアルの整備、人権研修の参加、担当者会議録の整備、災害対策として非常災害避難訓練の実施や備蓄・備蓄台帳を整備している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が自己評価や外部評価を全入居者のケアを見直す良い機会と捉えており、話し合いの機会が多くなっている。
重点項目③	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議実施要領を整備し、市担当者、地域代表、入居者・家族、ホーム管理者等の参加で2ヶ月毎に開催している。知見を有する者として地域包括支援センターを受託した地域社会福祉協議会職員が参加している。先ごろ運営法人名の変更があり、改めて運営推進員に委嘱状を交付している。7月の会議では、ホームでの看取りについての見解を話している。参加者からはそれぞれの立場で、忌憚のない意見があり、議事録を整備している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	家族の来訪時に入居者の暮らしぶりや健康状態を報告したり、入居者毎の写真集を見てもらっている。医療機関受診状況は随時家族に連絡している。採用した職員はその都度家族に紹介している。日用品購入の預かり金は出納帳を整備し、毎月の利用料請求書送付時に出納帳の複写を家族に送付している。成年後見制度や地域権利擁護事業に関するパンフレットを整備したり、入居者の状況に応じてケースワーカーと連携している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区割りの変更に伴い、当該自治会に加入し、会合に参加している。管理者が集会場の掃除や美化運動に参加し、地域の方々にグループホームについて話したりしている。ホーム見学の要望があれば、いつでも応えたいと話している。また、今年度4月より地区自治会長が運営推進会議メンバーとして参加されるようになり、今後の交流が期待できる。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの運営方針を重要事項説明書に明記し、「家庭的な雰囲気ですぐに笑顔を絶やさない毎日を楽しんでいただく17人の大家族」との理念や目標を入居者や家族、来訪者が見やすいように玄関に掲示している。また、職員は理念を自分の言葉で語れる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は機会ある毎に、理念を職員に話している。職員も入居者が自分の家族だったらと想定したケアを実践している。また、理念に沿って介護計画の総合方針を作成している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区割りの変更に伴い、当該自治会に加入し、会合に参加している。管理者が集会場の掃除や美化運動に参加し、地域の方々にグループホームについて話したりしている。ホーム見学の要望があれば、いつでも応えたいと話している。また、今年度4月より地区自治会長が運営推進会議メンバーとして参加されるようになり、今後の交流が期待できる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価や外部評価を全入居者のケアを見直す良い機会と捉えており、話し合いの機会が多くなっている。前回の外部評価結果に沿って、地域密着型サービスの方針を重要事項説明書に明記している。就業規則や高齢者虐待防止マニュアルの整備、人権研修の参加、担当者会議録の整備、災害対策として非常災害避難訓練の実施や備蓄や備蓄台帳を整備している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議実施要領を整備し、市担当者、地域代表、入居者・家族、ホーム管理者等の参加で2ヶ月毎に開催している。先ごろ運営法人名の変更があり、改めて運営推進員に委嘱状を交付している。7月の会議では、ホームでの看取りについての見解を話している。参加者からはそれぞれの立場で、忌憚のない意見があり、議事録を整備している。	○	運営推進会議をより実りある会議にするために、是非今回の外部評価結果を報告していただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に知見を有する者として地域包括支援センターを受託した地域社会福祉協議会職員が参加している。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者と職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会をもち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれを活用できるように取り組んでいる。	管理者は成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の研修会に参加し、研修会内容を職員に伝達している。成年後見制度や地域福祉権利擁護事業に関するパンフレットを整備している。入居者の状況に応じてケースワーカーと連携している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時に入居者の暮らしぶりや健康状態を報告したり、入居者毎に作成したお花見や誕生日・作品作成時の笑顔の写真集を見てもらっている。医療機関受診状況は随時家族に連絡している。採用した職員はその都度家族に紹介している。日用品購入の預かり金は出納帳を整備し、毎月の利用料請求書送付時に出納帳の複写を家族に送付している。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に行政機関及びホームの意見・苦情窓口を明記し、意見箱を設置している。運営推進会議では家族が忌憚のない意見を述べている。	○	ホーム発足時に設立した家族会は継続が困難であったのですが、ホーム行事のバーベキュー大会等に家族の参加を呼びかけ、家族の意見を伺ったり家族同士が交流する機会を設けられてはいいでしょうか。
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は認知症の特性や家族が職員の異動に関心があることも十分理解しているので、研修参加を積極的に勧めて、認知症ケアのスキルアップと、職員の働きやすい明るい職場作りと相談しやすい関係作りで離職を防いでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表及び管理者は職員の募集・採用にあたっては性別や年齢を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きと勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。	職員採用はハローワークを活用している。雇用契約書を取り交わし、服務規程を整備している。年次有休休暇の取得や健康診断を支援している。職員の休息の場はあるが、入居者の動向を把握したいとの思いもあり、共有空間で職員同士雑談しながら過ごしている。希望する研修参加や資格取得を支援している。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。	管理者、職員はそれぞれが受講する研修で人権に関する研修を受講しているが、資料を全職員に回覧し、レポート提出等で人権教育に取り組んでいる。身体拘束及び高齢者虐待防止マニュアルを整備している。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験や希望を踏まえた研修受講を支援したいと、各職員が受講する研修を組み入れた年間研修計画を作成している。入居者が重度化しているが、管理者は関係機関の情報や協力で、職員の戸惑いや不安の解消に努めている。		
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が入職前に居宅介護支援に係わっていたことから、他地域の同業者と情報交換等をしていたが、最近地域の同業者の紹介による入居があり、運営者は地域同業者説明会で同業者の交流を呼びかける予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の本人や家族には、入居を納得するまで見学をお願いしている。最近入居した利用者の場合は、在宅での介護が限界との家族の要望を受け入れ、管理者は本人が入居を納得できるようにと関係者に場面づくりをお願いしている。徐々にホームに馴染めるように家族の訪問や協力を得ている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	運営理念に17人の家族としての有様を明記し、目標を達成するために職員のこころ構えを玄関に掲示していることから、共に過ごし共に笑うことを日常としている。職員は入居者の得意分野で出番を作り、草とりや、園芸を教わりながら、一緒に過したり、洗濯物をたたんだり、食後の下膳や後片付けを笑顔で一緒にありがとうと楽しげに過している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	MDS-HCアセスメントツールや医療機関からのサマリー等で情報収集したり、日々入居者の言動から思いや意向の把握に努めている。入居者ごとに1日の流れを記載している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	MDS-HCアセスメントツールや医療機関からのサマリー、日ごろの言動、家族の意見や要望に沿って担当者会議を開き、介護計画を作成している。作成した介護計画は入居者や家族の同意を得ている。		
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的または状況に応じたモニタリングで、介護計画を見直している。重篤な入居者の状況を協力医療機関や家族に説明し、担当者会議で現状に即した介護計画を作成している。作成した介護計画は家族の同意を得ている。	○	重篤な入居者の介護計画は協力医療機関との連携や家族の意向を十分に把握して作成しているため、入居者の状況に応じて一週間または3日毎等、短期のモニタリングや計画の見直しをお願いしたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の協力医療機関のリハビリテーションを受けたいとの要望を協力医療機関との連携で支援したり、入居者の重度化を防止するため医療機関受診を支援している。また、馴染みの理美容院利用の支援や自宅への送迎をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関や入居者が希望する医療機関受診を支援している。受診に同行した職員がホームでの状況を報告し、受診状況は随時家族に報告している。その内容や経緯を業務日誌や支援経過に記録している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	経口摂取が困難な重篤な入居者の主治医に栄養補助食品の試用をお願いするなど、入居者の状況を主治医や家族と繰り返し話し合っている。また、運営推進会議でも、重度化した場合のホームの見解を話している。	○	入居者の状況に応じてホームで対応できること、できないことを具体的に明記した指針の整備を早急をお願いしたい。また、家族との意志確認についても、支援経過記録だけでなく、同意書の整備をお願いしたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いをホーム玄関に掲示している。ホーム目標や職員心構えで、入居者の人権等を重んじた言動を誹り、ゆったりとした丁寧な対応をしている。個人ファイルや個人情報は入居者等の目に触れないように事務所で管理している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	各入居者のペースに合わせた声掛けと、自己決定の工夫で入居者の希望に寄り沿うケアを実践している。飲み物等の選択もその都度確かめ選んでもらったり、好みの場所でゆっくり寛いでもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物や下ごしらえ、テーブル拭きを入居者の力量に応じてお願いしている。入居者の心身に配慮した席の配置で食卓を分け、見守りや声掛けをし、さりげなく食事介助をしながら、食事を楽しく食べられるように支援している。		
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	性別に一日おきに入浴を支援している。申し出があれば入浴日以外でも支援したり、季節や状況に応じてシャワーを活用している。入浴拒否者は、声掛けや、「貴方の入浴日です」と文書でカレンダーを作成したり、曜日や時間を変えるなどで工夫しながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食材の買い物や下ごしらえ、テーブル拭き、モップかけ、洗濯物たたみをお願いしている。男性入居者が熱心に新聞を読んでいる。個人的な新聞購読も支援している。新規男性入居者のために囲碁盤を用意したり、全員で七夕飾りつを作るなど入居者の楽しみ事や力量を活かす機会を設けている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	年間行事計画に沿って外出や行事を行っている。天候や体調に合わせてホーム近隣の散歩や、スーパーや100円ショップでの買い物、ドライブ、季節の食材取りなどで戸外にでかけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠はせず、外出傾向のある入居者は動向を常に把握しているが、外出された場合は職員が同行し、見守りをしている。玄関傍の事務所がガラス張り、入居者の動向が把握しやすい。また、万一を想定し地域の派出所や消防署に入居者の顔写真を持参し理解や協力をお願いしている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害時の連絡網を作成している。消火器を設置し、消防署の指導で火災避難訓練を実施している。飲料水や食品、絆創膏を備蓄し台帳を設置している。	○	運営推進会議を活用し、地域全体の水害、地震などの防災対策を話し合っているか。地元消防団への協力依頼等に運営推進委員からのアドバイスを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人関連施設の栄養士がカロリーや栄養バランスを考慮した献立を作成している。各入居者の食事・水分摂取量を把握し、経口摂取が困難な入居者にはミキサー食やとろみをつけたり、主治医の協力で栄養補助食品を利用している。毎月、体重を測定している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前に置かれたプランターには季節の花が植えられ、玄関には大きくグループホームの看板が掲げられている。段差のない玄関から続く共有空間は広々と明るく、オープンキッチンの前には食卓と座り心地の良い椅子が設置され、男性入居者が新聞を大きく広げて読んでいる。畳の間のコーナーのソファで昼寝をする入居者もいる。庭には槇の木を中心に庭木が植え込まれ、季節の花が植えられ居室からも見える。共有空間の空調は玄関傍の事務室で管理しているが、両側の窓からさわやかな風が流れている。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	洋間と和室の居室があり、入居者の要望等で選択してもらっている。各居室はベット、クーラー、換気扇が取り付けられ、室温計を入りに設置している。各居室の入り口の引き戸には表札と目印の暖簾がかけられてあり、家族写真や愛用のタンス等の持ち込みがあり、居心地の良い居室づくりがある。		